

東京スポーツ 平成28年1月28日(木)

認知症介護者には必読の本

量処方を実現する会」の代表理事でもある。介護ライ

読んで「目からうろこ」とはこの本のことをいうのだろう。現代書林から発売中の「認知症の薬をやめると認知症がよくなる人がいるって本当ですか？」(税込み1512円)は、今の認知症医療(診断と処方)が抱える問題を町医者と介護ライターの立場から実証的に列挙し、改善するための方法論を提言している。

町医者の立場で執筆にあたっているのは、長尾クリニックの長尾和宏院長で、同院長は「一般社団法人抗認知症薬の適

タリの立場からは医療・福祉・介護分野で多数の著書がある東田勉氏が参加。認知症には4大認知症があり、それぞれ症状も薬の処方も異なるのに、これをあまり知らない医者や専門家が多いのだとか。そして処方などを間違えて、逆に悪化につながってしまうケースがあるという。こうした認知症医療の現状を打開するために著者らが推奨するのが薬物療法マニユアル「コウノメソッド」。これは、医師の河野和彦氏が長年の認知症治療の中で「認知症患者さんから教えられた」という患者と介護者本位の方法論だ。身近に認知症患者がいる人には、非常に役に立つはずだ。60歳以上の人口比が30%と高齢者の割合が多くを占めるようになったこの時代、介護者は確実に増えていくだろう。そんなときのために、今から読んでおくことを勧めたい!

認知症の薬をやめると
認知症がよくなる人が
いるって本当ですか?

保が「コウノメソッド」で変わった理由

長尾和宏 東田 勉

本当です!

取りこぼさなかったり
進行が早くなかったり
薬を減らすか/増やすかが
天壤とちがった分かれ道...
薬は認知症のタイプや
病状に応じた処方薬が
できるかどうかかかです!

